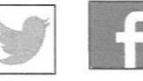




2021年 7月号

全国福祉保育労働組合東海地方本部
〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館405
TEL 052-881-2971/FAX 052-881-2998
e-mail fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
発行責任者／越須賀 舞
1面…全国非正規交流集会
2、3面…/臨パ部会、支部交流会
4面…中央行動、カルトクイズ



fukuhotkで検索

正規・非正規の格差是正！を再確認 非正規で働く仲間の全国交流集会in愛知 2日間 のべ1150人の参加者で



6月5-6(土日)、愛知を開催地に行われました。越須賀委員長と鈴木臨パ部会長が1年前から現地実行委員会に参加し、集会当日は、福保労東海地本から、14人の組合員が参加しました。

記念講演
中京大 大内裕和教授
大内さんは、「バイト難民」の学生の生活困窮と、非正規労働者の困窮状況・差別実態に触れ、「このコロナ禍によって、もともとあつた正規と非正規の格差が大きくあぶりだされた」ことを指摘。非正規雇用差別は正のための労働組合の役割として、最低賃金全国一律1500円の実現（福祉職のような専門性を持つ職種には見合ったプラスが必要とされています）と、非正規労働者の社会保険加入、そして、この国の社会保障制度について、教育・住宅・医療・介護・保育の5領域の脱商品化を訴えました。

が報告しました。
薄さ



が報告しました。
薄さ

働く仲間を守る立場に立ちきって！
非正規差別は、私たちがそれを許しているという大きな課題であると認識し、働く仲間を守る立場に労働組合が立ちきり、格差は正を当たり前に進めていこうと結びました。

責任は同じ」と語ったことを紹介し、しかし、彼女の手取りは月平均15万円程であると続けました。

福社保育労として 格差を許さず是正を

一方で、職場の労使協議会で、「非正規職員の夏季休を作れば正規が休みを取りにくくなるけどそれでもいいの？」と理事會から言われた分会があつたことも紹介し、まだまだ「財源がない・人手不足」という理事会からの説明が許されてしまつている状況も報告。

風の音 つぶやきー

(報告：藤原佳子)

K · F

地本カルトクイズ

もっと東海地本のことを知つてもらおうと出来たコーナー！

【第34回の正解と応募者】

正解

第1問：障害

第2問：雇用契約書

第3問：労働者は労使対等平等の団交がしたいから。

当選者 大村梨菜さん・住田世里香さん・大川彩子さん
(3人とも みなど福祉会分会)

～応募者の感想を紹介します～

- ・私の職場は団交を大切にしているが、この四コマを読んでさらに団交の大切さがわかった。（みなど福祉会分会大村梨菜さん）
- ・就業規則は就職して渡され、目を通したが理解するに至らず保管してました…。分会で春闘要求する際に、分会会議で「ここを要求したいけど規則ではこうなっている」と見方がわかつてきました。見直すって大事。（田代分会岩田彩花さん）

【第35回目カルトクイズ】

第1問：全国非正規交流集会の記念講演では、社会保障制度について5領域の脱商品化を訴えましたが、5領域とはなんでしょう？（今月紙面）

第2問：地本非正規アンケートのところで、書記局からは「何をしてほしい」と話があつたでしょう？（今月紙面）

第3問：地本では「〇と〇〇のコンサート」という名前で平和の文化企画がスタートしました。〇を埋めてください。（25周年誌）

応募方法：「件名」にカルトクイズと記入し、回答と、今月号を読んだ感想を一言記入してご応募下さい。

FAX : 052-881-2998

E-mail : fukuhotk@onyx.dti.ne.jp

正解・不正解を問わず、応募者のメッセージを紙面に掲載し紹介します。正解者のうち抽選で3名に地本「風光る」から

1,000円の図書カードを進呈します！

応募締め切り：8月末日まで。

当選者は、9月の地本定期大会で発表。

【今後の重要日程】

7月16日(金)19時～@イープル

障害児名古屋市交渉

7月18日(日)愛労連定期大会

7月20日(火)一時金組合費登録

提出締切

7月22日(祝)AM夏期組合学校

7月30日(金) 19時～@市役所

障害者名古屋市交渉

7月下旬 大会議案送付

各分会で読み合わせ

や討議など8月中に

8月2日(月)保育名古屋市懇談

8月下旬 保育愛知県交渉

9月5日(日)地本定期大会

産別労働組合として「なかつたことにさせない」 職場要求から国・自治体へ キャンペーン展開中！



現場を知つてもらうことが
絶対必要！

国にも、自治体にも、経営者にも

国に訴え
ます

5月の中

央行動で、
子どもと関
わること以
外の様々
な業務によ
り、休日や休憩
時間を使つ
て取り組ま
ざるを得な
い、現状の
保育実態を
訴えました。

まだ慢性的な
人手不足によ
る過酷な勤務
状況により、
長く働き続け
る見通しが持てず、現場
から人が離れ、新しい人
もなかなか入つてこない
現状も伝えました。

厚労省からは、人員の
配置基準の改善は難しい
との回答でもどかしさを
感じました。また保育士
の人材確保という点では、

配置基準の改善は難しい
との回答でもどかしさを
感じました。また保育士<br